

2021－22 年度 R I テーマ

『奉仕しよう みんなの人生を豊かに』

(Serve to Change Lives)



杉戸ロータリークラブ

第 51 代会長 宮田 雄一

2020-2021 年度は COVID19 のパンデミックにより、ほとんどの例会が ZOOM 併用のハイブリッド形式で開催されました。本年も 2770 地区各部門セミナーは ZOOM での設営となります。今年度松本輝夫ガバナーは COVID19 に負けずに「クラブに変化と成長を」とスローガンを構築しました。このパンデミックがもたらした影響が、例会が出来ない。奉仕事業が出来ない。仲間に会えない。ロータリーでやりたいことが出来ない。そしてデジタル化が進まないということでした。それを打破するために地区では IT 委員会を立ち上げました。当クラブでもグループや他のクラブの先頭を走るような例会に取り組んでいきたいと考えています。地域のニーズを捉え、ワクチン接種後の奉仕事業に一丸となり取り組んでいきましょう。一年間、宜しくお願いいたします。

具体的運営方針

1. クラブのビジョン・戦略計画の策定

クラブの満足度を高めるためにビジョン・戦略計画策を策定し、例会場に掲示する。

2. 継続事業の見直し（次年度は全て中止）

過去行ってきた継続事業について見直し、再考の上必要なものは開催をしていく。

① 挨拶運動

② ポリオ撲滅活動

③ 古利根川流灯まつりでの募金

④ 杉戸町音楽祭の検証（他団体への引継ぎについて要検討する）

3. 会員増強

・退会防止につとめる。

・今年度、純増 2 名を目指す

・会員でつくる部活動を奨励する。

4. 出席率向上

- ・ IT 委員会設置しオンライン例会等の実施、オンライン例会に向けた勉強会の実施
 - ・ 会員は、月 1 回の例会参加を義務とする。(オンライン・メーキャップ含む)
 - ・ 月間に沿って地区役員の卓話、会員の卓話を実施する。
 - ・ 親睦・出席委員とプログラム・ロータリー情報委員会に企画を立案し、他クラブとの合同例会・懇親会、メーキャップ、キャラバン、家族参加イベント等の実施
 - ・ 日帰り親睦旅行の立案
5. 財団・米山 100%達成
- ・ 例年同様財団・米山 100%達成を目標とする。ベネファクター1 名を目標
 - ・ ポリオプラス一人あたり 50 ドルを達成する。
6. 国際交流事業
- ・ 台湾中壢北区 RC との友好関係向上に向けた取り組み。
7. 青少年奉仕
- ・ 青少年交換プログラムのスポンサークラブに向けた取り組み。
 - ・ RYLA 研修参加者を募集する。
 - ・ インターアクトクラブ・ローターアクトクラブ主催の行事に参加要請する。
8. 米山記念奨学事業
- ・ 寄付増進をお願いする。
9. 新規事業
- ・ 地区補助金を使用し、杉戸町に新型コロナウイルス感染症対策支援を行う。
10. 50 周年記念事業・式典
- ・ 延期した 50 周年実行委員会を中心に全会員にて実施する。
11. マイロータリーへの登録
- ・ 100%登録を継続する。
12. ロータリー賞
- ・ ロータリー賞にチャレンジする。